

ロタウイルスワクチン予防接種 説明書

～予防接種を受ける前に必ずお読みください～

- 目的：ロタウイルス胃腸炎の重症化予防
- 対象：出生6週0日後から24週0日後までの間にある者
または出生6週0日後から32週0日後までの間にある者（5価）
- 開始時期：令和2年10月1日からロタウイルスワクチン予防接種の定期接種が開始

1. ロタウイルス胃腸炎について

口から侵入したロタウイルスが腸管に感染して発症します。感染力が非常に強く、手洗いや消毒などをしっかりしても、感染予防をすることが難しいため、乳幼児のうちに、ほとんどの子どもが感染します。下痢や嘔吐は1週間程度で治りますが、下痢、嘔吐が激しくなると、脱水症状を起こす場合もあり、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で、もっとも多い感染症です。一生のうちに何度も感染するウイルスですが、初めてロタウイルスに感染した時は、特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響をおよぼすこともあり、注意が必要です。生後、すぐに感染する場合もあるので、ワクチンの接種は、早い時期に完了させます。

2. ロタウイルスワクチンについて

ロタウイルスワクチンは2種類あり、どちらも生ワクチン（弱毒化したウイルス）で、飲むワクチンです。医療機関で相談し、どちらかのワクチンを選んでください。2種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なりますので、他のワクチンとの接種スケジュールなどを考慮して選択します。なお、途中からワクチンの種類を変更することはできませんので、最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。

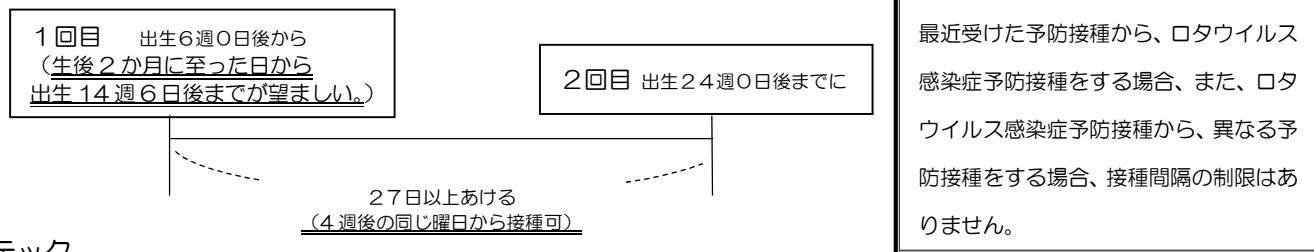
多くのワクチンの接種が重なる期間ですので、医療機関と相談して、他のワクチン接種と合わせて同時に接種することも検討してください。初回は、生後2か月から出生14週6日後までに接種します。それ以降の初回接種はおすすめしません。

なお、このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎の発症そのものを7～8割減らし、入院するような重症化は、そのほとんどが予防できます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

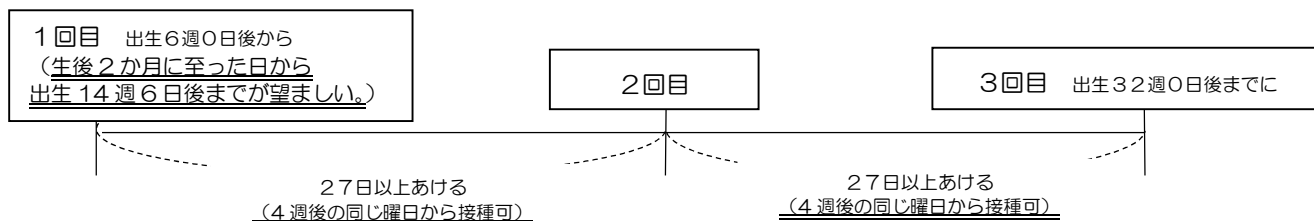
ワクチン名	ロタリックス	ロタテック
接種時期	出生6週0日後から24週0日後	出生6週0日後から32週0日後
接種回数	2回接種（27日以上の間隔をあける）	3回接種（27日以上の間隔をあける）
接種後、特に注意する事	どちらのワクチンも、接種後（特に1～2週間）は腸重積症（後述）の症状に注意し、症状がみられた際には、すみやかに接種した医療機関を受診してください。	

3. 標準的接種スケジュール

ロタリックス



ロタテック



4. 次の方は、予防接種を受けることができません

- ①明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③このワクチンの成分によって過敏症（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応を含む）をおこしたことがある人
- ④未治療の先天的な消化管障がいのある人
- ⑤過去に腸重積症をおこした人
- ⑥重症複合型免疫不全（SCID）のある人
- ⑦その他、かかりつけの医師から予防接種を受けないほうがよいと判断された人

5. 次の方は、接種前に医師にご相談ください

- ①活動性胃腸疾患や下痢等の胃腸障がいのある場合
- ②心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発達障がいなどの基礎疾患のある場合
- ③過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のみられた場合
- ④過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある場合
- ⑤過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある場合もしくは近親者に先天性免疫不全症の人がいる場合

6. 接種前の注意

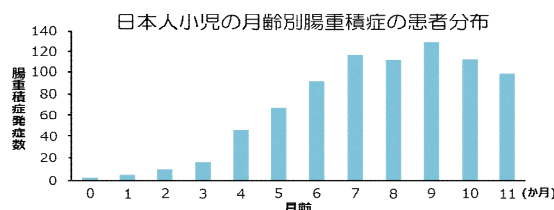
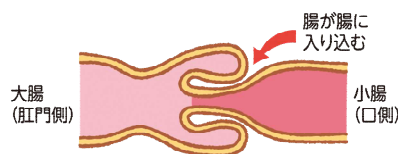
赤ちゃんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種前後30分ほどは授乳を控えることをおすすめします。上手に飲めるよう、医師、看護師の指示に従ってください。なお、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりしてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題ありませんので、再度接種する必要はありません。

7. 接種後の注意

接種直後は、ショックやアナフィラキシーがおこることがごく稀にありますので、医療機関で赤ちゃんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。ワクチン接種後1週間は副反応の出現に注意しましょう。機嫌が悪くなった、高熱、けいれんなど、異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。また、ワクチン接種後2週間ほどは、赤ちゃんの便の中に、ワクチンのウイルスが含まれることがあります。おむつ交換の後など、ていねいに手を洗ってください。

8. 腸重積症について

腸重積症とは、腸が腸に入り込み、閉塞状態になることです（下図）。0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気で、もともと、3～4か月齢ぐらいから月齢が上がるにつれて多くなります（下のグラフ）。早めに接種を開始し、早期に接種完了させましょう。



腸重積症は、手術が必要になることもあります。発症後、早く治療すれば、ほとんどの場合、手術をせずに治療できます。以下のような症状が一つでも現れたら、腸重積症が疑われます。

- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- 嘔吐を繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる
- 血便がでる

このような症状に気づいたら、すみやかに接種した医療機関を受診してください。接種した医療機関とは別の医療機関を受診する場合は、このワクチンを接種したことを医師に伝えてください。

9. 予防接種による健康被害救済制度について

定期的予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障がいを残す等の健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができる場合がありますので、診察した医師や保健センターへご相談ください。

【問い合わせ】 岬町立保健センター 電話 072-492-2424